

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会  
発行人 前田 寛  
東京都千代田区西神田 7-7-2426  
電話 (262) 2426・2932  
電報掛 6-36337

修学旅行は、学習を社会へ移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。  
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常態の改善に努力し、ついで教育効果の充実に努め、必要に応じて教育界に課せられた責務でもある。  
(財団法人 全国修学旅行研究協会 趣意書から)

## 修学旅行費等の補助金増額を

### 全修協・三地区修旅連が 7月21日文部省に陳情

財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(土居克巳会長・西宮市立大社中学校長)では、平成2年度の修学旅行費等の国庫補助金(要保護・準要保護児童生徒、並びにへき地校の児童生徒が支給対象)の増額について、七月二十一日文部省に遠山耕平財務課長を訪ね、西岡文部大臣あての陳情書を提出し、この件について特段の配慮を要請した。



遠山財務課長(左)に陳情書を渡す

今回の陳情は、経済的に恵まれない児童生徒や、過重な交通費の負担等の理由で、修学旅行に参加できないこの現状を、全修協がかねてから主張してきた「義務教育における修学旅行全員参加」の基本原則の確立を期して、各省庁の本年度予算の概算要求の時期にタイミングを合わせ、修学旅行費・校外活動費に対する増額を要請したものである。

全修協から前田事務局長、中島事務局長、糸賀修学旅行部長、三地区修旅連から木村一朗会長(茂原市立茂原中学校長)、山口明雄理事(運田市立運田中学校長)、佐藤時昭理事(松戸市立栗ヶ沢中学校長)の六名が、文部省教育助成局の遠山耕平財務課長、倉持光雄同課長、奨励係長と面談、文部大臣あての陳情書を手渡した。  
今年度は、このところ比較的に安定していた一般物価が、四月からの消費税導入により

#### 平成2年度修学旅行費補助金要望額

修学旅行費(要保護・準要保護児童生徒対象)

校種	今年度補助金額	来年度要望額
小学校	13,700円	14,500円
中学校	39,100円	43,300円

#### 校外活動費(準要保護児童生徒対象)

種別	校種	今年度補助金額	来年度要望額
宿泊を伴わない	小学校	790円	1,050円
	中学校	1,110円	2,100円
宿泊を伴う	小学校	2,030円	2,700円
	中学校	3,200円	3,700円

(上記金額の2分の1が国から補助され、残額については、地方自治体が負担する)

### 本年度会長に土居氏を選出

#### 関東・東海・近畿三地区公立中修旅連総会開く 指導要領改訂の趣旨を 修学旅行に生かす

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(成石昌蔵会長・前川越市立川越第一中学校長)は、七月十四、十五の両日、京都市において平成元年度(第十八年度)総会を開催し、前年度の会務報告、本年度役員選出、事業計画の審議等を行い、新年度の充実発展を期した。

会は、土居克巳副会長(西一國修学旅行研究大会の成功を高市立大社中学校長)の「全めざす」との開会のあいさつ



左から佐藤副会長、土居会長、あいさつする全修協山本理事長、成石前会長、木村副会長

で始まり、成石会長は、学習指導要領移行初年度に際し、「新しい修学旅行の創造に研究を深めよう」と呼びかけ、顧問の助全修協山本理事長は、修学旅行委員会の永年にわたる活動を称えることも「我々の活動を通して社会

ことを説明し、「別表の補助金の支給に格段の御尽力を賜りたい」と要請した。  
これに対し、遠山課長から「大蔵省との折衝に際しては、項目の費用明細が重要である」との示唆があり、また倉持係長からは「陳情の時期としては六月末が適当である」との助言があった。  
項目別の費用明細については、関東地区公立中学校修学旅行委員会加盟校の抽出調査を行い、資料をまとめ、文部省に全面的に協力することとした。

成に至るまでの経緯を説明し、出席者の参考に供した。ついで、各地区修学旅行委員会の前年度の会務報告が、それぞれの地域の特徴を示した活動とともに紹介され、更にこれらを総合した本委員会の会務報告が行われた。  
引き続き本年度役員、委員の選出に入り、土居会長以下別記の新役員を決定した。新役員を代表して土居副会長は、本委員会、全修協をハックに、修学旅行を引率する教職員との交通費は、生徒並に五割引にするよう、J.R.に働きかけた」と抱負を披瀝した。

最後に本年度活動計画が審議され、学習指導要領改訂のねらいを正しく受容する修学旅行の創生をめざし、研究

#### 第四回全修協修学旅行セミナー

9月12日 名古屋で開催

- 修学旅行
- (1)理事長あいさつ・主旨説明
  - (2)講演「学習指導要領改訂の経緯」  
文部省初等中等教育局 教科調査官 高橋 哲夫氏
  - (3)研究協議・質疑応答
  - (4)記念講演  
「何をどう書くか」  
中日新聞論説主幹 小柳津 健氏
- 4会場 愛知県労働会館 JR中央線 名古屋 7申込 (財全修協名古屋事務所) 地下鉄鶴舞駅下車、南へ徒歩五分 中区錦三 一四一 一五〇 〇52・9 62・69987へ

調査活動等について、一段の充実を期すことが決定された。

佐藤副会長(愛知県岩倉市立岩倉中学校長)の閉会の辞をもって締めくくった。翌十五日は、大阪のナショナルパナソニック・スクエア、国立民族学博物館を視察し、新大阪駅で解散した。

本年度役員は次のとおり(各中学校長、敬称略) 会長 土居克巳(兵庫・大社) 副会長 木村一朗(千葉・茂原) 佐藤敬文(愛知・岩倉) 顧問 山本種一(財全修協) 参与 前田寛(財全修協) 運営委員 関東・井村孝(千葉・習志野) 東海・奥山栄



#### 石川県支部長に 杉森 外喜雄氏

(財全修協) 石川県支部長に、七月一日付で杉森外喜雄氏が就任した。杉森氏は石川県立小・中学校教諭を歴任し、昭和六十一年から本年三月まで石川県立生活協同組合理事長(財石川県教育弘済会理事長を務めた。現在同弘済会顧問。

#### 風紋

「奥の細道 三百年」今年流布「蕉紀行」と銘打って、旅の案内がにぎやかである。日本人の旅の文化は、風雅のそれか、時として自分を見つめることでもあろうか。芭蕉は敬愛してやまない西行の五百年忌の年にみちのへへと旅立った。白河の関、松島、象潟と、西行や能因法師が歌に詠んだ地を訪ね、自らも名句を残した。これはいわば先人の旅を旅する、そうした旅であつた。先哲の歩いた跡をたどり、彼らの心に思いをはせ、そして自分の心を見つめる、日本人の心の原形がここにある。先人の歩いた道程を旅することに意義を見いだす、日本人の旅の原形がここにあつた。現在の旅にこれを求めることは無理だが、時代は芭蕉の生きた世に似ているといわれる。平成元年、庶民の旅の起源はお伊勢参りであつたか。いずれにしても現在の旅を少なからず見直す意味で、奥の細道の旅がクローズアップされているのか。日本人の旅は既知の世界の確認とも言われる。自らのイメージを追求し、精神的充足を求めるまことに心の旅の原形であるとするならば、今の旅は、行楽であり、バカンスのそれである。今それを肯定しても始まらないことは自明の理だが、風雅から歴史へ求め、心への回帰を強く希求しているのかもしれない。世は国際化時代だ。既知の確認だけでは無意味な世界はない。既存の事物、既知のイメージが旅に誘うことに変わりはない。本年度一学期の修学旅行は、集中豪雨や群発地震にもほとんど影響されず、無事に終了した。(博)

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

# ツーリストの修学旅行。

近畿日本ツーリスト 本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2  
支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

### 京都への修学旅行は 漸減の傾向 63年は125万5千人

京都市観光調査年報から

京都市文化観光局では「京都市観光調査年報」昭和六十三年をこのほどまとめた。これによると、入浴観光客は前年に引き続いて増加し、三千八百七十二万五千人を数

改訂前では、右のようになされた。改訂においては、施設部分の「厳密」の記述が新たに追加されている。

入浴客の増加は、一昨年の修復以来の金閣寺ブームや、京都国体開催などが理由にあげられている。修学旅行については、特に高校生の減少が目立つが、海外やスキー修学旅行など、最近の多様化が要因と当局は見ている。

また月別では、五月22%が最も多く、以下十月17%、四月及び六月15%、十一月14%と、前年とほとんど変化なく、大体春秋の好季節に集中している。

現在、京都市文化観光局で、修学旅行協議会を開催し、学校現場の意見を聴くことも事業として、六月末までに札幌、旭川、釧路、函館などで

月別修学旅行客数 (報告分) (単位: 校、千人)

区分	小学校		中学校		高等学校	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
1月	10	3	-	-	10	3
2月	44	11	-	15	5	27
3月	206	44	2	57	10	147
4月	889	161	206	663	137	20
5月	1,266	248	462	775	201	29
6月	687	165	111	550	146	26
7月	209	56	-	148	41	61
8月	50	12	-	1	-	49
9月	282	58	29	89	15	164
10月	868	189	189	135	26	544
11月	671	155	113	44	7	514
12月	138	33	6	13	3	119
計	5,320	1,135	1,120	114	2,490	591

(説明) この表は1988年の報告による修学旅行者について月別にあらわしたものである。

学校生活に有意義な変化や折目をつけ、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機づけとなるような活動を行うこと。

霧囲気を体験する機会に乏しいことなどから、そのような場を用意することの教育的意義が重視されたためである。

養育上の観点から、特に中学生にたいしては、国際化の進展に伴う今回の教育課程の改訂のねらいの一つであること、その具体的な対応としての困難及び国歌の取扱いの明確化に關しての直接的な根拠となるからである。

年生の春、二月頃に実施されることが多い。

○学校行事のねらい、意義や内容を事前に学習、理解させることが大切であり、特に役割分担等による活動を行わないうい生徒については、理解を深め、立派な体験的な活動であることを十分に理解させた。

行事の種類「この内容等(1)儀式的行事  
ア、活動内容  
「指導書」には「実施する際には、特に次のことに配慮していく必要がある。」と述べられている。

このことは、儀式的行事においては、その特質からも、厳粛な雰囲気においてこそ本来のねらいが十分に達せられること、また、最近の生徒をめぐる諸環境や生活実態の変化などからみて、このような

集団の中で喜びや苦しみを共にして生活しているという自覚を深め、いわゆる仲間意識を助長することにより、道徳的実践の指導に役立つことである。

「立志式」は全国的に各地で行われているが、その概要を最も一般的な例により示せば次のとおりである。

も、人間としての生き方や進路の選択に關する指導であり、その教育的意義は大きいと考えられる。

## 新学習指導要領

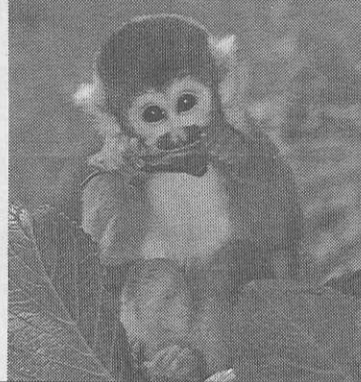
### についての解説 (6)

文部省教科調査官 高橋哲夫

### 生徒指導と 特別活動・修学旅行

64

## 動物たちのあったカラ・ン・ド



●営業受付時間  
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)  
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)  
●修学旅行料金 (消費税含む)  
高校生 1,030円 中学生 721円  
小学生 618円 ガイドラジオ  
バス1台につき1,030円

別府あじむ草原 博物館相当施設  
アフリカンサファリ  
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑  
(0978) 48-2331(代)  
FAX (0978) 48-2330

とびだせ自然へ  
緑の箱根へ

箱根高原ホテル

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164  
電話0460-4-8595(代表)

レクチャーホール

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい  
修学旅行の一夜をお過ごし下さい。

そのほか  
冬期はスキー教室  
夏期は林間学校

奥日光高原ホテル

〒321-16 日光市湯元2549-6  
(TEL) 0288-62-2121代表

きっと、思い出いっぱいの旅になる。

修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。

見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる「ホテルK棟」をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしております。

そのほか、北歐風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

体験学習のご案内  
●エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学  
●モトピア ●モータースポーツ観戦 ●地曳綱  
●潮干狩 ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは  
鈴鹿サーキット  
修学旅行課 〒510-02 三重県鈴鹿市桶生町7932 ☎(0593) 78-1111